

令和4年度 予算施策評価表

様式1

施策名	食の安全・安心				予算施策コード	ns02	
担当部局名	農林水産部	農業振興局	畜産課	評価責任者	課長 青野 逸志	連絡先	2575

1 施策の内容

施策の目標	食は生活の糧であり、生命を育む根源である。生産流通段階における農林水産物の安全性確保を図り、消費者に対して安全・安心な農林水産物を供給する。
-------	--

これまでの取組み	食の安定生産と安全性を確保するために、家畜保健衛生所、農林水産研究所等において、生産段階における危害因子(病原体による汚染、動物用医薬品や農薬の残留等)の調査および指導等により、リスク管理の強化を図っている。また、生産履歴や加工原料等の情報を消費者に提供できるトレーサビリティシステムの普及定着に努めるとともに、流通販売段階においても食品表示の監視・指導に努め適正表示の徹底を図っている。
----------	--

成果指標名(目標の達成度合いを示す指標)

A	生産段階における安全性確保達成状況				B	流通段階における安全性確保達成状況					
選択理由	食の安定生産と安全性を確保するためには、生産段階における危害因子の調査・監視を実施し、リスク管理の強化を図ることが重要。				選択理由	消費者に農水産物の正確な情報を提供するためには、流通販売段階における食品表示の監視・指導を実施し、食品表示の適正化を図ることが重要					
算定方法	〔調査・監視実施件数－不適正事例件数(畜水産物における抗菌性物質等医薬品や農作物における農薬の残留件数)〕／調査・監視実施数×100				算定方法	調査において確認された生鮮食品の不適正表示件数					
成果と指標の関係	強	指標の種類(ストック/フロー)	フロー	指標の種類(プラス/マイナス)	+	成果と指標の関係	強	指標の種類(ストック/フロー)	フロー	指標の種類(プラス/マイナス)	-

指標・事業費・人件費の推移												
区分	成果指標A			成果指標B			事業費(予算)				事業費(決算)	人件費
	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	予算計	国費	その他	県費		
単位	%		%			%	千円					
2年度	100	100	100.0%	29	24	120.8%	134,657	43,631	5,423	85,603	115,303	276,059
3年度	100	100	100.0%	23	27	85.2%	1,219,597	589,812	5,213	624,572	679,824	278,300
4年度	100	100	100.0%	25	29	86.2%	403,806	85,517	182,167	136,122	347,980	237,056

2 施策の評価

県の関与の必要性		説明	各法律(家畜伝染病予防法、BSE特措法、農薬取締法、薬機法等)に基づく県の事務として実施しているもののほか、安全・安心な農林水産物の生産供給は、県民の食生活に直結するものであり、県が積極的に関与する必要がある。						
高い									
成果指標A		説明	不適正事例がなく、成果動向は順調で、各事業における生産段階での調査・監視が適切に機能しており、高い水準で農林水産物の安全性の確保がなされている。適切な監視・指導体制を維持することが重要であり、これらの取り組みを積み重ねることで成果の維持が期待できる。						
成果動向	順調・向上								
成果向上余地	成果向上は余り望めない								
成果指標B		説明	平成27年度に新たな食品表示ウォッチャーの委嘱に伴い、調査対象とする生活圏が変更され新規の調査店舗が増えたことで、不適正表示件数が増加したが、不適正表示事例の指導により、不適正件数は減少している。適切な監視・指導体制を維持することが重要であり、これらの取り組みを積み重ねることで成果の向上が期待できる。						
成果動向	横這い								
成果向上余地	大幅な成果向上が可能								
参考：構成事務事業の評価の平均値		成果動向	2.17	順調・向上		成果向上余地	1.25	成果向上が可能	

4-1 事務事業管理シート（評価対象事業）

予算施策名

ns02

食の安全・安心

1 南予家畜保健衛生所整備事業費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	4成果順調である	向上 余地	1成果向上余 地が小 さい									
指標種類1	指標名称1	単位	計画	5	-	100	/	/	/	予算	事業費計	0	0	176,841	275,404	評価	南予家畜保健衛生所の移転整備が順調に進められている。										
成果	+	70-	工事の進捗率	%	実績	7					-	100	国費									見直し 方向性	方向1	このまま継続	方向2	方向3	
					達成率	140.00%					-	100.00%	その他							176,841	275,404						
					指標種類2	指標名称2					単位	計画	100	-	2					県費							
活動	+	70-	工事等契約件数	件	実績	100					-	2	決算	事業費計	0					0	147,242	見直し 方向性	方向1	このまま継続	方向2	方向3	
					達成率	100.00%					-	100.00%		国費													
					指標種類3	指標名称3				単位	計画					その他			147,242								
実施 期間	始期	終期	事業の概要							人役	人件費	0.8		4,777	方向1	このまま継続	方向2	方向3									
			R4	R7	築後約50年が経過した南予家畜保健衛生所及び同宇和島支所を、統合のうえ、庁舎を南予地域の畜産主産地である移転するとともに、施設機能を拡充することにより、家畜防疫体制の強化を図る。																						

2 家畜衛生施設整備事業費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり								
指標種類1	指標名称1	単位	計画	5	-	5	/	/	/	予算	事業費計	0	3,300	7,638	4,214	評価	家畜病性鑑定所の運営基盤を強化することで、より効率的な防疫対策の推進が図られる。									
成果	+	70-	機器稼働数	回	実績	7					-	7	国費		3,300					7,638	4,214	見直し 方向性	方向1	このまま継続	方向2	方向3
					達成率	140.00%					-	140.00%	その他													
					指標種類2	指標名称2					単位	計画	100	-	100					決算	事業費計					
成果	+	70-	機器整備実施率	%	実績	100					-	100	国費		2,805						7,406					
					達成率	100.00%					-	100.00%	その他													
					指標種類3	指標名称3				単位	計画				県費											
実施 期間	始期	終期	事業の概要							人役	人件費	0.2	0.2	方向1	このまま継続	方向2	方向3									
			R1	R5	畜産農家が集中する電源立地地域周辺において、地域産業活性化を図るため、本県の家畜防疫体制の整備を図るための機器を整備する。																					

3 獣医師確保対策事業費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	4成果順調である	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり									
指標種類1	指標名称1	単位	計画	2	2	2	/	/	/	予算	事業費計	8,896	9,865	9,865	9,271	評価	今後も修学資金給付制度の継続、獣医系大学への直接訪問やWebによる就職説明会の実施と、獣医系大学生のインターンシップの受入れを積極的に行うことで、農林水産部局公務員獣医師の確保が可能となり、県下の畜産農家の防疫衛生の指導体制の安定へつながる。										
成果	+	70-	農林水産部局公務員獣医師採用数	人	実績	1					3	3	国費									見直し 方向性	方向1	このまま継続	方向2	方向3	
					達成率	50.00%					150.00%	150.00%	その他														
					指標種類2	指標名称2					単位	計画	6	7	8					決算	事業費計						6,447
活動	+	70-	修学資金給付者数	人	実績	7					6	5	国費														
					達成率	116.67%					85.71%	62.50%	その他														
					指標種類3	指標名称3				単位	計画	8	8	8	県費	6,447	5,702	7,230									
実施 期間	始期	終期	事業の概要							人役	人件費	0.5	0.5	0.5	方向1	このまま継続	方向2	方向3									
			H23		本県でも受験者の減少や合格者の辞退等により獣医師の不足が生じている一方、家畜防疫員の確保が畜産を守る必須の条件として各県の喫緊の課題となったことから、獣医系大学生に対する修学資金給付制度の創設等により有能な公務員獣医師の確保を図ることとする。																						

4 死亡牛全頭検査事業費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位:千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	1成果向上余りが小 さい						
指標種類1	指標名称1			単位	計画	100	100	100		予算	事業費計	13,377	13,377	13,378	13,378	評価	現状、全ての検査対象牛についてBSE検査が実施されている。							
成果	+	70-	死亡牛におけるBSE検査実施率	%	実績	100	100	100			国費	5,495	5,605	5,608	5,560									
					達成率	100.00%	100.00%	100.00%			その他													
					計画	125	125	125			県費	7,882	7,772	7,770	7,818									
指標種類2	指標名称2			単位	計画	125	125	125			決算	事業費計	13,138	9,495	10,802					見直し 方向性	方向1	このまま継続		
活動	0	70-	96か月齢以上の死亡牛及び特定症状を示した牛の発生頭数	頭数	実績	115	91	109				国費	5,461	3,733	4,494							方向2		
					達成率	-	-	-		その他					方向3									
					計画	125	125	125		県費		7,677	5,762	6,308										
指標種類3	指標名称3			単位	計画	125	125	125		人役		5.3	5.3	5.3										
活動	0	70-	BSE検査実施頭数	頭数	実績	115	94	109		人件費		35,860	32,065	31,647										
					達成率	-	-	-																
					計画	125	125	125																
実施期間	始期	終期	事業の概要																					
	H15		牛海綿状脳症対策特別措置法により、H15.4.1から24か月齢以上の死亡牛全頭検査が義務付けられ、R1年度から一般死亡牛検査月齢が96ヶ月以上となった。これに伴うBSE検査の確かつ円滑な実施を図り、本病の清浄性の維持を目指す。																					

5 豚熱等防疫強化対策事業費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位:千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	1成果向上余りが小 さい						
指標種類1	指標名称1			単位	計画	0	0	0		予算	事業費計	14,100	52,371	101,889	75,197	評価	農家指導を定期的に行うことで、豚熱・アフリカ豚熱の防疫体制の強化を図ることができている。							
成果	0	70-	豚熱・アフリカ豚熱の発生件数	件	実績	0	0	0			国費	5,237	31,764	45,427	37,880									
					達成率	-	-	-			その他													
					計画	350	350	350			県費	8,863	20,607	56,462	37,317									
指標種類2	指標名称2			単位	計画	350	350	350			決算	事業費計	10,326	37,277	93,421					見直し 方向性	方向1	このまま継続		
活動	+	70-	養豚農家巡回指導戸数	戸	実績	295	344	546				国費	4,699	22,787	40,881							方向2		
					達成率	84.29%	98.29%	156.00%		その他					方向3									
					計画					県費		5,627	14,490	52,540										
指標種類3	指標名称3			単位	計画					人役		0.5	0.5	0.5										
実施期間	始期	終期	R1	事業の概要								人件費	3,383	3,025	2,986									
				豚熱の国内における発生については、県内侵入の危険性を否定できない状況まで拡大していることから、空海港での水際対策や万が一の発生に備えたまん延防止対策の強化を講じることにより、万全の防疫対策を整える。																				

6 家畜保健衛生所費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位:千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	1成果向上余りが小 さい						
指標種類1	指標名称1			単位	計画	45	40	40		予算	事業費計	21,296	21,956	20,537	22,652	評価	近年国内での高病原性鳥インフルエンザや豚熱の発生により農場における飼養衛生管理の意識向上が図られ、家畜伝染病の発生も減少傾向にある。							
成果	-	70-	監視伝染病発生数	件	実績	18	24	22			国費													
					達成率	250.00%	166.67%	181.82%			その他	61	61	61	61									
					計画	45	40	40			県費	21,235	21,895	20,476	22,591									
指標種類2	指標名称2			単位	計画	4	4	4			決算	事業費計	19,357	17,454	17,380					見直し 方向性	方向1	このまま継続		
活動	0	70-	家畜保健衛生所及び家畜病性鑑定所数	箇所	実績	4	4	4				国費			453							方向2		
					達成率	-	-	-		その他		34	34	34	方向3									
					計画					県費		19,323	17,420	16,893										
指標種類3	指標名称3			単位	計画					人役		1.3	1.3	1.3										
実施期間	始期	終期	S25	事業の概要								人件費	8,796	7,865	7,763									
				家畜保健衛生所の維持運営に要する経費。																				

4-2 事務事業管理シート（評価対象外事業）

予算施策名

ns02

食の安全・安心

1 家畜防疫初動体制強化事業費	コスト (単位：千円)					コスト (単位：千円)	R2年度 R3年度 R4年度		
	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R2年度		R3年度	R4年度	
評価対象外の理由	事業費計	0	0	10,259	0	事業費計	0	0	10,226
9月補正より後に新たに予算計上	国費			516		国費			558
評価対象外その他の理由(記述)	その他					その他			
	県費			9,743		県費			9,668
						人役			0.3
						人件費			1,792